

本校における新型コロナウイルス感染症対策について

福井市足羽小学校

【2021年9月】

◆学校での児童・職員の基本対策◆

1 感染源を絶つ

- ・発熱や咳、鼻水、咽頭痛、頭痛、倦怠感等の風邪の症状(以下、発熱等の風邪の症状と表記)があり、普段と体調が少しでも異なる場合には、自宅で休養する。
- ・発熱等の風邪の症状がある場合には、かかりつけ医等に直接電話相談し、医療機関を受診する。

2 健康観察の徹底

- ・登校後、児童玄関で健康観察表のチェックを行う。
- ・カード忘れや検温忘れがあった場合は、教室には入らずに児童玄関で検温および体調の確認を行う。
- ・カードの風邪症状の欄に○や記入がある場合には、相談室に移動し、検温・問診ののち、家庭に連絡し発熱等の風邪の症状と確認の上、保護者のお迎えを待つ。
(風邪による鼻水との区別をつけるため、アレルギーによる鼻水の場合には㊦、花粉症の場合には㊧等とご記入ください)
- ・登校後、発熱等の風邪の症状が見られる場合は、マスク着用の上、相談室等で休養し保護者の方のお迎えを待つ。

3 マスク着用

- ・基本的に常時マスクを着用する。ただし、次の場合はその限りではない。
(体育の授業中・熱中症の危険があるとき)
- ・予備のマスクを用意する。なお、汚れたマスクは、学校では捨てずに持ち帰る。
- ・マスクをつけると、のどの渇きを感じにくくなるため、こまめに水分補給を行う。

4 石けんによる手洗いの励行

- ・登校後、トイレの後、大休みの後、体育の前後、特別教室使用前後、給食前後、清掃後、屋外で活動をして戻ったとき、咳やくしゃみをしたとき、鼻をかんだときなどは石けんによる手洗いを行う。
- ・各教室に手指用消毒液を準備しておく(※手指消毒の際は、「指先」を念入りに行う)。
- ・必ず清潔なハンカチを2枚持ってくる。(1枚はポケット、もう1枚はランドセル)

5 換気の励行

- ・密閉空間を避けるため、常時、教室の天窗や教室の2方向(対角線)の窓を開放しておく。
- ・大休みや昼休み、給食前には、出入口の扉も全開放し、換気を行う。
- ・特別教室(体育館・家庭科室・音楽室等)使用時にも換気を行う。

6 活動の工夫

- ・児童の密接、密集を避けるために、学級・学年単位での活動を基本とし、集会等については校内放送を活用する(登下校や清掃、休み時間等については、密接を避けながら行う)。
- ・授業中や給食や清掃中、休み時間等も児童同士の密接場面が多くなるないように活動内容や活動場所を工夫し、指導を行っていく。

7 校内の消毒

- ・児童の下校後、職員で消毒作業を行う。教室内外で多くの児童や職員が手を触れる箇所(出入口、トイレ、手すり、スイッチ、共用物品等)を次亜塩素酸ナトリウムまたはアルコールを用いて消毒する。

◆新型コロナウイルス感染症対応のための校内ガイドライン◆

	学校の対応	児童の動き
登校前	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の換気 ・児童を迎えるための玄関・教室等の準備 ・職員も出勤時からマスク着用(終日) ・職員は検温し、職員室の名簿に体温を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登校前の健康観察(同居家族も)、検温し、健康観察カードに記入(保護者印・サインも)。 ・自宅からマスクを着用する(熱中症の危険がある場合には、マスクを外してもよい)。
登校してきた時	<ul style="list-style-type: none"> ・密にならないよう指導する。 ・手洗い指導を行う。 <p>[地域の感染レベルが2及び3のとき]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玄関で、職員が検温や健康観察カードの確認をする。 ・家庭で検温できなかった場合やカード忘れの児童は、児童玄関で再度検温・問診(非接触型体温計を使用)を行う。 ・健康観察カードに○や記入がある場合は、相談室に移動し、検温・問診のうち、家庭に連絡する。発熱等の風邪の症状か確認の上、風邪症状の場合は保護者のお迎えを待つ。 <p>[地域の感染レベルが1のとき]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室で、担任が健康観察カードの確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集合時や歩行中は、間隔をとり、互いの会話は控える。 ・児童玄関で職員に健康観察カードを見せる。 ・教室にランドセルを置いた児童から、手洗い場で手を洗う。 <p>※蛇口は1つおきに使用する。</p>
朝の会	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会で健康観察を行う。 ・登校後、体調不良となった児童は、検温を行い発熱がみられた場合やその他の体調不良の症状がある場合は、養護教諭に連絡し、相談の上、保護者の方にお迎えを依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち物の確認をする。(マスク・ハンカチ・ビニール袋・水筒等) ・当面、朝の歌は歌わない。

授業中・教室	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の天窓、2方向の窓は常時開放。 ・廊下の窓も開放。 ・グループ活動やペア学習は、教室のこまめな換気やマスク着用のもと、3密を回避したうえで行う。 ・特別教室使用後もそのまま換気を行う。 ・共用した用具の使用前後には、手指消毒をするよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣の子との座席を最大限に離して、前を向いて座る。 ・授業中もマスク着用。 ・物の貸し借りはしない。 ・共用のものを触った後は、手洗い・手指消毒をする。
授業中・特別教室	<ul style="list-style-type: none"> ・健康観察を行う。 ・石けんによる手洗い指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣の子との座席を最大限に離して、前を向いて座る。 ・授業中もマスク着用(体育を除く)。 ・物の貸し借りはしない。 ・共用のもの(学級文庫・図書室の本・鉛筆削り・実験器具等)を触った後は、手洗いをする。 ・特別教室での活動の前後に、石けんによる手洗いをする。 ・体育…密にならないように着替えを行う。 <ul style="list-style-type: none"> …体調不良者は見学、休養する。 …マスクはマスクケースに入れる。 …活動前後に必ず水分補給を行う。
休み時間	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間には、教室の窓と扉を全開放し、5～10分の換気を行う。 ・トイレや手洗い場が密にならないようキープディスタンスの指導をする。 ・石けんによる手洗い指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・換気 ・授業終了後、トイレや水分補給を行うとともに、次の学習の準備をする。 ・会話や移動はできるだけ距離をとる。
大休み・昼休み	<ul style="list-style-type: none"> ・換気 ・曜日毎の学年割り当てにより、グラウンド・体育館を使用する。 ・必ず手洗いをしてから教室に入る。 ・体育館や校庭に行く場合、クラス毎に並んで話をせずに行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・換気 ・グラウンドや体育館で遊ぶ場合には、接触・密集しないように遊ぶ。 ・教室内で過ごす場合も、顔をつきあわせるような遊びは控え、距離をとって過ごす。 ・手洗いをを行う。

給食前	<ul style="list-style-type: none"> ・換気 ・健康観察(体調不良者には配膳させない) ・配膳台の消毒 ・石けんによる手洗いの指導 ・配膳の指導 ・はみがきの指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康観察(体調不良者には配膳させない) ・石けんによる手洗い ・給食をとりに行くときは一方通行 ・自分の席で前を向いて食べる。 ・会話は控える。 ・歯みがきは間隔を空けて行う。 ・うがいも洗面台に顔を近づけて行う。
清掃時	<ul style="list-style-type: none"> ・換気 ・整列、清掃中、手洗い時のキープディスプレイの指導 ・無言清掃 ・掃除の後の手洗いの指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・換気 ・マスク着用 ・無言清掃 ・石けんによる手洗い
下校	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関で密にならないように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登校同様、会話を控え、間隔を空けて下校
放課後	<ul style="list-style-type: none"> ・教室のドア・窓・スイッチ・階段手すり・トイレ等多くの児童や職員が触れる場所の消毒作業を行う。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・大休みや昼休みは、3密(密閉・密集・密接)にならないように配慮する。 ・特別教室の使用前後には、石けんでの手洗いを行う(手洗いができない場合は手指用消毒液を利用)。 ・物品の共用を可能な限り避け、やむをえず実施する場合には、石けんでの手洗いを行う。 ・感染症対策に関して、随時、担任等より指導を行う。 ・換気は、天候に合わせて常時行う。 ・エアコン使用時も必ず換気を行う。 ・欠席連絡があった場合には、丁寧に児童の健康状態の聞き取りを行う。 ・心理的ストレスを抱える児童がいると考えられるため、児童の心理面にも留意し、担任や養護教諭等を中心にきめ細やかな健康観察や教育相談等の実施、SC等による支援を行うなど、心のケアにつとめる。 	